

## 踏み跡 <My Mountains>

八ヶ岳	赤岳鉱泉から大同心周辺(新しいアイゼンの試し山行)	No.149
-----	---------------------------	--------

新しいアイゼンを購入したらどうしても履き心地を試したくなり、目的地のあてもなく赤岳鉱泉を目指す山行となった。

昭和45年4月5日

八王子13時51分発、糸魚川行の急行で混雑してはいたが、昼下がりの時間なので座席確保には心配はいらなかった。

茅野で装備の一部を購入し、17時20分のバスに乗り込む。予想に反してこのバスは八ヶ岳農場までしか入らない。やむなく暗闇に追われながら美濃戸へ急ぎ足。

美濃戸の赤岳山荘に19時45分に到着。素泊まりで650円。

遅い夕食は、草餅入りの味噌ラーメン(大根、ピーマン、タマネギ、芽キャベツ、牛肉入りの豪華版)。

昭和45年4月6日

天気は快晴。昨晚21時に寝たので少々寝坊してしまった。6時10分にあわてて飛び起きて朝食。

朝食は雑煮とみかん。手際よくこなして6時55分に出発。

右手前方に阿弥陀岳の北斜面を見ながら、慣れた雪道を赤岳鉱泉まで1時間15分。



今回は目的地がなく気が楽なので、途中で何度かシャッターを切ったり景色を楽しんだり。(上：横岳西壁) 赤岳鉱泉から中山乗越へ。何度となく歩いたこのルートも新しいアイゼンだと新鮮な気分になる。

中山乗越で草野さんとぼったり。しばらく立ち話の後、お互いに定まった予定を持っていない気ままな旅だとわかったので、一緒に大同心の取り付き点あたりまで偵察と称して散策することになった。

行者小屋から樹林のかすかな踏み跡に入ると、4月とも思えぬような雪の量が待っている。

適当にラッセルを楽しみながら登り、下りはグリセード。二時間ほどで赤岳鉱泉に戻った。

頭上にさんさんと輝く太陽を浴びての昼食。

帰路のバスも八ヶ岳農場発なので、のんびりと景色と雑談を楽しみながら下山した。おかげで、八ヶ岳農場からの雄大な八ヶ岳連峰の写真を撮ることができた。(下)



春の息吹きを深い所に秘めながら静かに雪どけを待つ沢の瀬音は、明らかに春の近さを知らせている。こんなんびりした冬山も、たまには悪くない。

以上